

# えん



# 通信 No.86

高齢になっても、障がいをもっても、この街で暮らし続けるために



昨年 11 月 9 日(日)、新座市立中央公民館にて民族歌舞団「荒馬座」による第22回「みんなのコンサート」を開きました。当日は小さなお子さんから高齢の方まで240名余りの参加があり、大いに盛り上がり笑顔が広がりました。

私は音楽が好きで、えんさんのコンサートを毎年楽しみにしています。

今年は特に大好きな太鼓。最前列で見た荒馬座さんの踊りと太鼓は、大迫力で身体中に響き渡りました。その上、前に出て太鼓を叩く役を仰せつかりました。ドキドキ、ワクワクしながら、出番を待ちました。1、2回叩くだけかと思いきや、なんと一曲叩き続けることになり、ハトハトでフラフラになりましたが、何とか叩き終えることができました。自分の席まで戻れるか心配でしたが、それも無事に出来ました。楽しかった～♪

今年もありがとうございました。来年も楽しみにしています。

(ケアサポートえん利用者／駒形玲子)





## 『ばけばけ』では困るのです！？

今年最初のえん通信をお届けします。酷暑の後は極寒になるとか、日本海側の豪雪は例年にない深さで、高齢化が進む中雪下ろしもままならないと聞きます。朝の連続ドラマ『ばけばけ』テーマソング 2 番は「日に日に世界は悪くなる～♪」と始まりますが、まったくその通り。それにしても衆議院解散にはビックリ仰天しました。豪雪地帯では選挙ポスターだって貼れず、高齢者や障がいがある人々は投票に行くのもためらいます。投票率下げたいのかしらとつぶやいています。

えん通信読者の皆さんは、介護保険の相次ぐ改悪でタイヘンなことになっていることはご存知かと思います。3 ページ「院内集会」の記事にもありますが、2026 年内に介護サービス利用料の 2 割負担の対象者を増やす案を確定させると言っています。一人世帯の場合年収 230 万円以上が対象ですが、預貯金が 300 万円以下なら(自己申告)1 割負担に据え置くという案が示されています。特養ホーム入居の場合 2 割負担に上がったら月額 2 万 3 千円以上アップし、ユニット型個室であれば月額 15 万円を超えてしまいます。在宅介護では必要なサービスの量を減らすしかない方もいらっしゃるでしょう。要介護者の生活の質は下がり、家族の負担は増え、利用が減ることで収入が下がる介護事業所の経営も悪化します。

何度もお伝えしましたが、介護事業所の閉鎖・倒産は増えるばかりです。他人事ではありません。ケアサポートえんでは 50 人を超える訪問ヘルパーの中で 2 番目に多いのが 70 代です。80 才を超えた方も一人います。退職したいと申し出られても交代できる若手が少なく、必死で引き留めることになります。たとえ生活援助(家事援助)であっても突発的に身体介護を伴う事態が起きることもありますから、高齢者に向く仕事とは言えないのですが…。若い人がこの仕事を望まないのは、第一に低賃金ゆえです。介護報酬がほぼすべてですから、報酬のアップを待つしかないのです。



利用者さんなどによる折り紙の節分飾り

とはいえ、介護保険料だって上がる一方でこれ以上の負担は求められません。国の負担比率を上げてまかなってほしいと要望していますが、色よい返事は聞こえません。防衛費は知らないうちに爆上がり、今回の選挙費用が 800 億円超というのにどうしてでしょう。黙っていたらどんどん悪くなるばかり。この記事を読んだ皆さん、周りの方々にも介護サービスの現状を伝えてください。まずは多くの人々に理解していただくことです。

代表理事 小島美里

## ケアマネジャーの視点から現場の声を大にして伝えたい

去る12月5日、参議院議員会館で開催された「ケア社会をつくる会」主催の院内集会に参加しました。現在 2027 年度の制度改正に向け、介護サービス利用料2割負担の拡大、ケアプランの有料化、要介護1・2の生活援助サービスなどの給付外し（総合事業化）という3つの大きな改定案を含めて議論されています。

集会に参加し、改めて強く感じたのは、国の進める数字上の議論と、私たちが目にしている現場の現実が大きく乖離していることです。私が担当する利用者さんの多くは、限られた年金の中で、1円単位の節約をしながら一生懸命に、そして真面目に日々の生活を営まれています。「これ以上負担が増えたら、デイサービスの回数を減らさないといけないね」と、寂しそうに話す利用者さんの顔が浮かびます。そんな方々にさらなる負担増を強いることは、もはや「制度の維持」ではなく「生活の質の低下」を招くと危惧しています。



利用者さんとスタッフ創作の  
寒椿と雪うさぎのタペストリー

この集会后、利用料2割負担対象の拡大はペンディングに。ケアプランの有料化や要介護1・2の総合事業化は、介護保険利用の初期の段階での適切な介入を阻む高い壁となるでしょう。費用負担を懸念して相談を控えれば、状況が悪化してから発見されるケースが急増します。早期に専門的な支援を届けることで重度化を防ぐという、介護保険本来の「自立支援」の理念が、今まさに足元から揺らいでいます。財政の理屈でサービスを削るのではなく、いかにして今の安心を支え続けるかという視点が、今こそ求められています。

今回の集会で、全国の仲間たちが連帯して声を上げる姿に強く勇気づけられました。私たちケアマネジャーの役割は、単なる手続きの代行ではありません。利用者さんのささやかな生活と尊厳を守り抜くことです。真面目に生きてきた高齢者が、経済的な理由で必要なケアを諦めることのない社会を維持するために、これからも現場の「生の声」を届け続け、だれもが安心して暮らせる未来へ向けた粘り強い働きかけを続けていきたいと、強く感じました。

ケアプランえん 松縄和代

## イベント報告

# えん祭り



昨年12月7日、たくさんの利用者さんやスタッフが参加して毎年恒例（焼き芋タイム）の「えん祭り」が行われました。名物の焼き芋を始め、新座市内のおいしいパン屋さん、生活介護事業所などによる物販コーナーも人気を集めました。出展した人たちに感想を伺いました。



新座市社会福祉協議会による  
缶バッジ作り



モルック体験



キッチンカーの出店



### 焼き芋チームスタッフ 和知佳汰

焚き火を眺めながら、ゆっくりと地域の方と会話ができてとても楽しかったです。マシュマロを楽しそうに焼いている子供達の笑顔に癒されました(\*^▽^\*)



福祉工房楓・さわらびさんのブースでお手伝いしてくれた、尾関誠矢さんにインタビューしました！

Q、何を担当しましたか？

誠矢さん 福祉工房楓・さわらびさんの自主製作品の販売！

Q、大変だったことは？

誠矢さん 大きな声で呼び込みしたこと(^o^)

Q、売れた時の気持ちは？

誠矢さん 嬉しかった!(^^)!

Q、「えん祭り」で何を食べた？

誠矢さん 焼き芋と焼きマシュマロ。パンも。

Q、何がおいしかった？

誠矢さん 全部~(^^)v

Q、来年も参加したいですか？

誠矢さん はい(^\_^)/~

一生懸命販売の呼び込みをしてくれたお陰で、たくさん売れて助かりました。ありがとうございました。



# えん祭り

## 「カタニデベーカリー」地元のパン屋さん

初めて「えん祭り」に参加させていただきました。早朝にパンを焼き始めましたが、搬入はギリギリになってしまい駆け込み。

今回は我が家の小学生の息子2人もお店の手伝いに。はりきって仲良くやっていたのも束の間、いつものようにけんかが始まり…そんな私たちをスタッフの皆さま、お客様、皆さんが温かく見守ってくださり、感謝感謝の一日となりました。

お祭りでは皆さんの笑顔が本当に印象的でした。とても楽しく素敵なお時間を過ごすことができました、本当にありがとうございました！



## ファームそらの皆さん



## スポーツスタッキング体験



## ファームそら(生活介護)代表理事・比良亜希子さん

この度は、えん祭りに参加させていただきありがとうございました。

ファームそらの活動で作成した自主製品をメンバーと一緒に販売させていただきました。出店者に地域で活動している知り合いがいたり、遊びに来てくれた方で久々にお会いできた人が声をかけてくれたりして、メンバーさんたちも安心して参加できました。また、ファームそらのことを聞いてくれる人もいて、新たな出会いもありました。

こうして、地域で活躍できる場があると日々の活動の励みになるなあとつくづく感じました。そして、何より楽しかった～！！また、ぜひ参加したいです。

## えんの森アトリエにて行われた作品展



同時開催！！

アートする  
しあわせ



～みんなで作品展～

# デイホームえん &グループホームえんのお正月

今年もよろしく  
お願いします



このタペストリーは昨年末、利用者  
さんたちがスタッフと創作しました。

初夢に見ると縁起の良いものとして、一富士、二鷹、三茄子(なすび)と言いますね。さて、茄子はどこにあるでしょう。

見つけてくださいね！



あ、さて！あ、さて！  
さては南京玉すだれ♪  
世にも不思議な、玉すだれ♪

地元ボランティアグループ「音楽とお話の会カスターネットさん」による、めでたい“さては”南京玉すだれ、写真は冬季五輪にちなんで五輪を披露しました。



## ●グループホームえん元旦の朝●

みんな揃って、無事に新年をむかえられました。  
竹やぶ越しの初日の出(朝8時だけど☁️)を見ながら今年もおせち料理と、えんの食卓お手製のお雑煮でお祝いしました。



昨年11月9日に開かれた荒馬座による『みんなのコンサート』へ、皆さまから、たくさんの感想をいただきました。その一部をご紹介します！

民族歌舞団

## 荒馬座



## 太鼓と踊りでイキイキ！！



### みなさんからの感想

たくさんの  
ご感想ありがとう  
ございました。



- とっても良かったです。障がいの娘も大喜びでした。興奮が収まりません。
- 心躍る演奏に感激しました！これからもより一層の活躍をお祈り致します。
- 新座親子劇場で十数年前にも見させてもらいました。荒馬おどりは、娘が小学生の時、運動会で踊っていたのを思い出します。竹の輪に布をつけて…。エイサーもやっていたね。花笠おどりも参加型で良かったです。全国のたいこの演技、最後の演目はとても息の合ったたいこでした♡ブラボー !! 音が体に響きました。
- むかしから大好きな荒馬座を久しぶりに聴けて大変嬉しく思いました。重度知的障がいの息子も夢中で食い入るように注目していました。本当に楽しい時間をありがとうございました。靴の脱ぎはきの場所や駐車場のご配慮助かりました。
- 太鼓も踊りも三味線も皆、迫力があり、とても聞きごたえがありました。皆さん汗びっしょりかいて全身でやっているのに感動しました。懐かしい曲や聞きなじみの曲ばかりでとても楽しめました。又、観客の太鼓でお年の方が思い切り楽しそうに叩いておられ、すごい力が出るのだと感じました。日常と違うことに身体も動いてくるのですね。楽しい企画ありがとうございました。スタッフの方も大変だったと思いますがお疲れさまでした。利用者Sn
- たのしかったです !! 外出のきっかけになって気分転換にもなり、家族と参加させていただきましたが、共通の思い出ができました。ステキな体験をありがとうございました。
- 荒馬座ブラボーでした。さすが荒馬座のメンバーです。皆さんの心を鷲掴みでした。大変盛り上がり、良かった。91歳の利用者さんのタイコもすばらしかった。

えんからの  
お知らせ



# リードオルガンコンサート 春風にのせて

第15回 まどかコンサート



風の楽器リードオルガンの音に耳を傾け、  
一緒に歌いましょう！

## 2026年3月1日(日)

先着40名様！！  
申し込み  
多機能ホームまどか  
TEL 042-476-1501

14:00 開演(13:30 開場)

会場:多機能ホームまどか

参加費:300円(小学生以下無料)

使用楽器:足踏みリードオルガン 49 鍵  
Yamaha Organ Hamamatsu  
製造番号 69782 (明治38年)



出演:相田南穂子(あいだ・なおこ)

東京音楽大学音楽学科ピアノ専攻、  
同研究科オルガン専攻修了。聖グレゴ  
リオの家宗教音楽研究所教会音楽科、  
専攻科修了。日本リードオルガン初代  
会長佐藤泰平氏に出会い演奏を始め  
る。リードオルガンの構造と修理法を  
伊藤信夫氏・園子氏に学ぶ。リードオ  
ルガンと共に歌う童謡・唱歌・日本歌  
謡の会を開催。



● 地域で暮らし続けていくために2025年度新規・継続会員募集中！

正会員／1000円 賛助会員／3000円

郵便振替(00180-5-314344) ※入会を希望される方は、事務局までご連絡ください

●●次回 2026 年度春号No.88 は4月末頃発行予定です！●●



● 発行・編集 ●

## NPO法人 暮らしネット・えん

〒352-0033 埼玉県新座市石神2-1-4

TEL:048-480-4150 FAX:048-201-1311

Eメール:[kurashinet@npoenn.com](mailto:kurashinet@npoenn.com)

ホームページ:<https://npoenn.com/>



ホームページ  
QR コード



えんX(日ソイッター)  
QR コード